

科目ナンバリングマニュアル

質保証作業部会（令和4年2月7日）

質保証作業部会一部改正（令和5年3月8日）

I ナンバリングの目的

1. 学部を越えた学修を進める等の学修環境整備を行うために、開講科目の分野や水準を全学的に俯瞰できるものとする。
2. 学修を通じたディプロマポリシーの修得状況を明確にするために、ディプロマポリシー（DP）との対応を明確にする。
3. 各学部、学環・研究科（以下「各学部・研究科」という。）において学生が履修計画を立てられるように、科目の系統や順序性を明らかにする。

II ナンバリングの構成

ナンバリングは以下の7つの部分から成る。

（例）中等教育の課程と方法

部局	学問分野					水準	言語	各学部・研究科 DP との対応					プログラム	順序		
	0	9	0	1	1			0	1	1	1	0		2	2	2
L	0	9	0	1	1	J	0	1	1	1	0	P	2	2	2	

（桁数） （表記内容）

- 1 開講部局コード
- 2～5 学問分野
- 6 学問分野における水準
- 7 言語
- 8～12 各学部・研究科 DP に対応
- 13 プログラムなど
- 14～16 順序

- ・「学問分野」「水準」「言語」がナンバリングの目的1に対応する部分である。
- ・「各学部・研究科 DP との対応」がナンバリングの目的2に対応する部分である。また学生自身が e-ポートフォリオにおいて自らの学修状況を確認するために利用する。
- ・「プログラム」「順序」がナンバリングの目的3に対応する部分である。
- ・ナンバリングにより明確化された系統性・順序性に沿って、カリキュラムマップ、カリキュラムツリーを作成する。

Ⅲ ナンバリング方法

1. 開講部局コード(アルファベット)

- ・教育学部／教育学研究科・・・・・・・・・・L
- ・経済学部／経済学研究科・・・・・・・・・・E
- ・システム工学部／システム工学研究科・・・・・・・・・・S
- ・観光学部／観光学研究科・・・・・・・・・・T
- ・社会インフォマティクス学環・・・・・・・・・・K
- ・教養教育委員会・・・・・・・・・・C

2. 学問分野(4桁)(数字)

H30 年度科学研究費助成事業「審査区分表(総表)」(別添)から、その科目の分野として最も適切な小区分を一つ選ぶ。複数の小区分にまたがる場合は、そのうちの一つを主たる学問分野として選択する。(審査区分表では数字5桁で表現されているが、最下位の0を取り除いたものとする。)

小区分で割り振りができない場合は、中区分で割り振りする。(中区分コードに00を付けたものとする。)

学問分野に当てはまらない科目については、以下のとおりコードを割り振る。

内 容	割り振りコード
紹介や入門に関わる科目	L000
卒業論文・卒業研究に関わる科目(ゼミ含む)	M000
自主演習やPBLに関わる科目	N000
実技に関わる科目	P000
インターンシップや実習関連の科目	Q000
キャリアや進路指導に関わる科目	R000
ラーニングスキル等の学習スキルに関わる科目	S000

3. 学問分野における水準(1桁)(数字)

以下のように6段階とする。ただし、以下に示すレベルは、学問上の水準を示すものであり、例えば、大学院科目だからといって必ずしも4以上とは限らず、専門分野とは異なる分野の基礎的な内容を学ぶこともあり得るなど、教育課程上必要な水準の科目を置くことができることに留意する。

1	学問分野の入門的な内容
2	1を踏まえた学問分野の基礎的な内容

3	1と2を踏まえ、専門を深める内容（概ね学部卒業に求められるレベル）
4	1から3を踏まえ、さらに専門を深める内容（概ね大学院修士で学ぶレベル）
5	1から4を踏まえた専門研究に関する内容（概ね大学院修了に求められるレベル）
6	専攻の学問分野の最先端の内容（概ね大学院博士レベル）

4. 言語(アルファベット)

授業で主として使用される言語。日本語は J、英語は E、日本語・英語以外は 0（オー）。

5. 各学部・研究科 DP との対応(5桁)(数字)

- 各学部の5つのDPに、各研究科（修士課程・博士前期課程）の3つのDPに、（博士後期課程）の2つのDPに各相応する。
- 科目において修得を目指すDPについて「1」、それ以外のDPは「0」。
- 「1」をつける個数についての制限はない。（ただし、全項目「0」は不可）
- 各研究科（修士課程・博士前期課程・博士後期課程）のDPは、3つあるいは2つのため、DPが存在しない桁数は「9」を記入する。

(留意点)別途、各教員は、科目ごとに、合計が10となるよう、各DP項目の重みづけを行う。ナンバリングで1を付したDP項目には、必ず1以上を付し、少なくとも1つのDP項目に4以上を割り振るものとする。

	ナンバリング(第8~12桁)					重みづけ					理由
○	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0	
○	1	1	1	0	1	1	4	4	0	1	
×	1	1	1	0	0	4	2	2	2	0	ナンバリングと重みづけが対応していない
×	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	4以上を付けたDP項目がない
×	1	1	1	0	0	5	2	4	0	0	合計が10になっていない
×	1	1	0	1	0	4.5	3.5	0	2	0	小数は不可

6. プログラム(アルファベット)

科目が各学部・大学院において設けられているプログラム等をアルファベットで示す。同一科目が複数プログラム等で利用されている場合には、それぞれのプログラムでこれ以降のナンバリングを行う。

7. 順序(3桁)(数字)

- 1桁目は標準履修学年を表す。

学士課程1年⇒1。大学院1年⇒5。大学院2年⇒6。

修士論文の作成に当たり履修する論文（研究）指導等の科目 ⇒7

博士論文の作成に当たり履修する論文（研究）指導等の科目 ⇒8

- 2 桁目は各プログラムの中で細分化された系統を示し、そのコードは開講部局が個別に指定する。細分化の程度については、当該系統に含まれる科目が複数となるようにすること。
- 3 桁目は、2 桁目で示した同一系統内での順序性を示すものとし、そのコードは、順序に従い 1 から順に割り当てる。

カリキュラムツリーとナンバリングの順序が整合するよう、留意する。